

北海道浮魚ニュース

令和 8（2026）年度 8 号

2026 年 7 月 31 日

道総研 函館水産試験場

【URL】 https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html

◎日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 31 日に日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので概要をお知らせします。今回は日本海を対象とした漁期後半（北海道の対象海域は 8 月～9 月）の予報です。

なお、この予報は国立研究開発法人水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し、水産研究・教育機構がとりまとめを行いました。詳細は下記のホームページからご覧いただけます。

水産研究・教育機構 (<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>)

「我が国周辺の水産資源の評価 漁海況予報」 (<http://abchan.fra.go.jp/gk/>)

今後の見通し（2026 年 8 月～12 月）

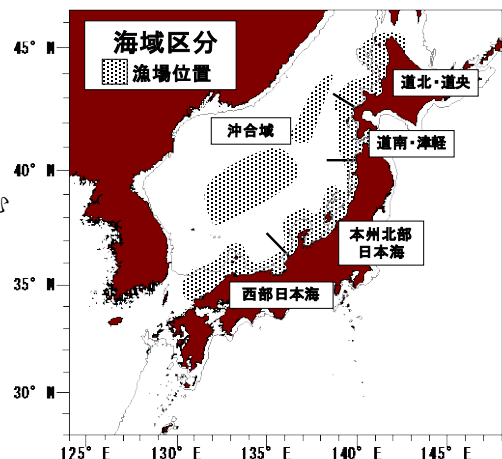
対象魚種：スルメイカ

対象海域：日本海（道北・道央、道南・津軽、本州
北部日本海、西部日本海、沖合域）

対象漁業：主にいか釣り・小型いか釣り漁業

対象魚群：秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- ・日本海全体：来遊量は前年を下回る。
- ・道北・道央海域：来遊量は前年を下回る。
- ・道南・津軽海域：来遊量は前年を下回る。
- ・本州北部日本海海域：来遊量は前年を下回る。
- ・西部日本海海域：来遊量は前年を下回る。
- ・沖合域：来遊量は前年並。



※道北・道央海域および道南・津軽海域は 8 月～9 月を対象とする

- ・6 月中旬～7 月上旬に実施された日本海スルメイカ漁場一斉調査（函館水試調査分は浮魚ニュース第 6 号を参照）では、日本海全体への来遊量の目安となる全調査点の平均 CPUE（いか釣り機 1 台 1 時間あたりの漁獲尾数）は 0.004 となり、前年（0.025）および近年平均（0.227）を下回り過去最低となりました。
- ・本州北部日本海海域における漁獲量は、4 月は前年を下回りましたが（前年比 73%）、5～6 月には前年並の水準まで増加しました（前年比 117%）。漁場は 5～6 月にかけて能登半島の西側に形成された一方、新潟県より北側ではほとんど形成されませんでした。7 月に入ってから、能登半島西側の漁場でも漁獲量が減少する傾向がみられます。

（函館水産試験場調査研究部、TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849）